20 B60R-021/22

Designated States (Regional): DE ES FR GB IT

B60R-021/16

Based on patent WO 9942333

JP 2002503581 W

EP 1054790

B1 E

```
DE 69912401
                       B60R-021/16
             E
                                     Based on patent EP 1054790
                                     Based on patent WO 9942333
MX 221306
                       B60R-021/16
                                     Based on patent WO 9942333
Abstract (Basic): WO 9942333 A1
        NOVELTY - An airbag (22) mounted to the roof rail and concealed
by
    the trim comprises joined panels and its center (22a) is located
near
    the back (300) of the front seat or alternately near the B-pillar
    and is bonded or sewn shut so that it will not be inflated. The
lower
    region (22b) is similarly sewn shut and may be reinforced for
    connection of a tether (8). On triggering of the airbag, gas is
    distributed along the side curtain airbag through a flexible tube
    to inflate the airbag between the side of the vehicle and the
occupants
    (40)
        USE - Protecting vehicle passengers during side impact or
rollover
       DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The drawing shows a side curtain
airbag
    in its deployed state protecting occupants in a passenger
compartment
        Airbag (22)
        Tether (80)
        Flexible gas-supply tube (70)
        Airbag regions (22a,22b)
        pp; 22 DwgNo 6/9
Title Terms: SIDE; CURTAIN; AIRBAG; SYSTEM; DESIGN; PROTECT; VEHICLE;
  OCCUPY; SIDE; IMPACT; EVENT
Derwent Class: Q17; X22
International Patent Class (Main): B60R-021/16; B60R-021/22
International Patent Class (Additional): B60R-021/24
File Segment: EPI; EngPI
Manual Codes (EPI/S-X): X22-X10
```

# (19) 日本国特許庁 (J P) (12) 公表特許公報(A)

(11)特許出願公表番号 特表2002-503581 (P2002-503581A)

(43)公表日 平成14年2月5日(2002.2.5)

(51) Int.Cl.7

識別記号

B60R 21/22

FΙ

テーマコート\*(参考) 3D054

B60R 21/22

審查請求 未請求

予備審查請求 有 (全 20 頁)

(21)出願番号 特臘2000-532307(P2000-532307)

(86) (22)出顧日

平成11年1月8日(1999.1.8)

(85)翻訳文提出日

平成12年8月17日(2000.8.17)

(86)国際出願番号

PCT/US99/00508

(87)国際公開番号 WO99/42333

(87)国際公開日

平成11年8月26日(1999.8.26)

(31)優先権主張番号 09/026,571

(32) 優先日

平成10年2月20日(1998.2.20)

(33) 優先権主張国

米国 (US)

(81) 指定国

EP(AT, BE, CH, CY,

DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, I T, LU, MC, NL, PT, SE), BR, CA, C

Z, DE, ES, GB, JP, KR, MX, PL, RU

(71)出願人 プリード・オートモティブ・テクノロジ

ィ・インク

アメリカ合衆国・フロリダ・33807-

3050・レイクランド・オールド・タンパ・

ハイウェイ・5300

(72)発明者 ベイリー、プライアン、ジェイ、

アメリカ合衆国 48313 ミシガン州 ス ターリング ハイツ ファイアスティール

ドライブ 40664

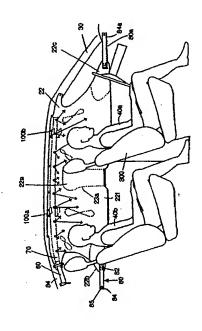
(74)代理人 弁理士 金田 暢之 (外2名)

最終頁に続く

#### (54) 【発明の名称】 サイドカーテンエアパッグシステム

#### (57)【要約】

サイドカーテンエアパッグ (72) が、乗物のAピラー (30) からBピラー (32) を横切って延び、Cピラ ー (34) に固定されている。エアパッグは、膨張する 際、乗物のルーフレール38の近傍から少なくとも乗物 のサイドウインドウの下縁まで延びるのに十分な高さで ある。膨張したエアパッグは、搭乗者と乗物の側部との 間に配置される。サイドカーテンエアパッグモジュール システムはさらに、膨張ガスをエアパッグに分配する複 数の開口が長手方向に沿って設けられた可撓チューブ (70)を含む。



レール (38) に固定されている、請求項6に記載のサイドカーテンエアバッグ システム (20)。

【請求項8】 前記チューブ (70) は、編まれまたは織られた生地で作られた補強外殻を備えたエラストマー内管を有する、請求項1ないし7のいずれかに記載のサイドカーテンエアバッグシステム (20)。

【請求項9】 前記チューブ (70) は、前記チューブ内に膨張ガスを直接 流させる膨張ガス源である膨張器60の周りに固定された一端 (74a) と、密 閉または接合された前記管の他端 (74b) とを有する、請求項1ないし8のいずれかに記載のサイドカーテンエアバッグシステム (20)。

【請求項10】 前記チューブは、密閉または接合された二つの端を有し、前記膨張ガス源は、前記密閉された二つの端の間の位置で膨張ガスを前記チューブに供給する、請求項1ないし8いずれかに記載のサイドカーテンエアバッグシステム(20)。

十分な長さのエアバッグ22を有する。図2および6に示されているように、エアバッグは、膨張時に、乗物のルーフレール(38)の近傍から少なくとも乗物のサイドウインドウの下端部まで延びるのに十分な高さである。言い換えると、エアバッグ22は、展開されたときに、乗物のサイドパネル36aおよび36bと、図6に40aおよび40bとして示される外側に座った搭乗者の上半身との間に位置するのに十分な高さである。

#### [0006]

エアバッグ22は、エアバッグ生地すなわち互いに溶着または接着された熱可 塑性材料の縦布からなる複数の縫合縦布24a、24bを有する。生地に関し、 エアバッグ材の通気性は、エアバッグが膨張するのに要求される時間に合うよう に選択される。エアバッグ22の上端26は、縫合縦布24a、24bの縫い目 28の近傍に複数の開口40を含む。エアバッグ22の上端26を強化ルーフレ ール38 (図3参照) に固定するのに複数の留め具(不図示) が用いられる。図 1 a に最もよく示されるように、エアバッグ22の図示左側である後部端42 a のようなエアバッグの一端は開口44を含む。この開口44内にエアバッグ膨張 器60が挿入されている。示されている実施形態では、膨張器60は、膨張器6 Oを乗物のCピラーのような隣接する構造部品に取り付けられるようにするため に、複数の取り付けブラケットすなわちフランジ62aおよび62bを含んでい る。膨張器60は、作動時に、加圧された膨張ガスをエアバッグ22に生成しあ るいは供給する、従来の種々の固体推進薬、ハイブリッド、増大、または液体イ ンフレータであってもよい。図示された実施形態では、膨張器60は、軸方向に 向けられた複数の出力口64を含む。エアバッグ22の上端部26内には、可撓 チューブ70が設けられている。本発明の好ましい実施形態では、チューブ70 は、編み物または織物の生地からなる補強外部鞘を持つエラストマー内管を有す る。その代わりに、チューブを金属、プラスチック、ゴム、またはナイロンで作 ることもできる。チューブ70は、その長さに沿って設けられた複数の開口72 を含む。チューブ70は、端74aおよび74bを含む。図5からわかるように 、チューブの一端74aは、膨張ガス源である膨張器60の周りにブラケット6 2 b によって固定され、これにより膨張ガスはチューブ内に直接流れる。チュー 、エアバッグ22は、基本的には長い管のような形状になる。エアバッグをこの折り畳まれた形状に保つため、エアバッグは、公知の収縮包装材(セロハン)92のような、壊れ易いまたは裂け易い材料に包まれている。折り畳まれ、包まれたエアバッグ22は、その後、保持クリップ100a、100bのような複数の留め具を使って、ルーフレール38に取り付けられる。図3に図示されているように、一方の保持クリップ100bは、各クリップがエアバッグの膨張時に(図6に図示されているように)裂け開くことを可能とするように、予め応力を加えられた裂け目領域102を含む。保持クリップ100aおよび100bは、図3に図示されているように、留め具110によってルーフレールに固定できる。

#### [0009]

従来知られているように、多くの乗物の前部および後部ドアの上方には、搭乗者の降車時に助けとして用いられるU型のグラブハンドルが設けられている。そのような一つのグラブハンドル112が図3に示されている。グラブハンドルをルーフレールに固定するのに用いられる留め具110は、クリップ100a、100bをルーフレールに固定するためにも用いることができる。理解し得るように、クリップの数は個々の乗物に依存する。さらに、折り畳まれ包まれたエアバッグは、予め応力を加えられた部分102を有する管状のプラスチック製の外殻内に設置することもでき、基本的には、予め応力を加えられた外殻は、接触した複数の保持クリップ100a、bなどとして考えることができる。

#### [0010]

本発明の他の実施形態を図示する図7を簡単に参照する。この実施形態において、膨張器60aは、少なくとも二つの流出口64aおよび64b(互いに反対向きの)を含むような形状になっている。膨張器は、アダプタ150を用いて、分割チューブ70の対向する部分70a、70bに固定される。図7の膨張器60aは、乗物のBピラー32に取り付けることもできる。

#### [0011]

図8は、本発明のまた他の実施形態を示す。この実施形態では、膨張器60bは、その両端に軸流口64を有する。膨張器は、分割チューブ70の対向する部分70a、70bに連結される。

## 【図5】

膨張器と本発明の他の部品との相互連結を示す。

## 【図6】

乗員室内部の乗員を保護する、展開された状態のサイドカーテンすなわちエア バッグを示す。

# 【図7】

本発明の他の実施形態を示す。

## 【図8】

本発明の他の実施形態を示す。

# 【図9】

本発明の他の装置を示す。

【図2】

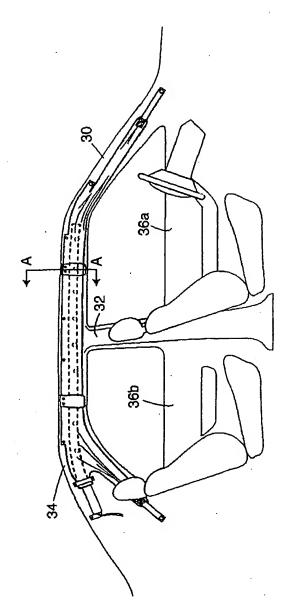


Fig.

【図5】

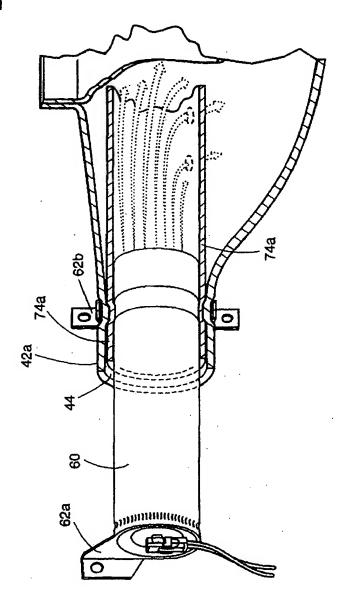
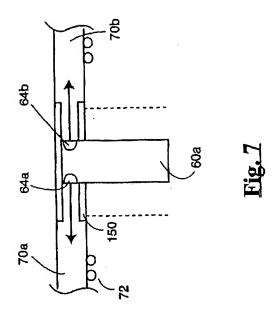
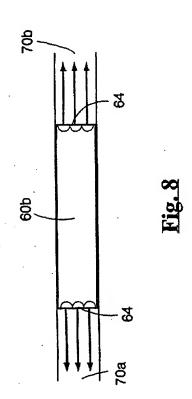


Fig. 5

【図7】



【図8】



# 【国際調査報告】

	INTERNATIONAL SEARCH RE	PORT [	Int tional Application No		
		PCT/US 99,	700306		
A. CLASSIF	HCATION OF SUBJECT MATTER B60R21/16				
1.00	DOVIE 17 10				
		•			
According to	International Patent Classification (IPC) or to both national classification	and IPC			
B. FIELDS					
Minmum do	cumentation searched (classification system followed by classification sy B60R	mbols)			
1100	P0.61/				
Documentati	on searched other than minimum documentation to the extent that such	documents, are (nc)	ided in the fields se	arched	
Electronic da	ate base consulted during the internetional search frame of data base an	nd, where predice	, search terms used	)	
		•			
استنست	INTS CONSIDERED TO BE RELEVANT	*****		Relevant to claim No.	
Category *	Cliation of decuzzent, with indication, where appropriete, of the relevan	r broscôes		TOO TE WOULD	
v	GB 2 314 30D A (AUTOLIV DEV)		*	1,3,4,6,	
X	24 December 1997			7,9	
Α .	see figures			2,8	
"	see abstract				
	see page 4, line 12 - page 9, line	16			
	FR A CLA COL & CUC TECH & DESTEN			1-9	
Α	EP 0 814 001 A (HS TECH & DESIGN) 29 December 1997			1-9	
	see figures 1,5				
	see abstract				
	see column 6, line 9 - line 52			•	
				1 5 7 10	
P,A	GB 2 326 385 A (AUTOLIV DEV)			1,5-7,10	
	23 December 1998 see figures 5,6				
	see abstract				
	see page 9, line 27 - page 11, line	13			
	<del></del> .				
	-/-	-			
				L	
X Furt	her documents are listed in the continuation of box C.	Palant family	mombers are ficted	in attrex.	
* Special co	tegories of ofted documents :	Inter decument ou	blished after the inte	vmethood films data	
*A* docum	ont defining the general state of the art which is not	or priority date at	nd not in conflict with	the application but early underlying the	
consid	to ted to be of particular relevance	invention		•	
E earlier	document but published on or after the international "X"	cannot be consid	ular relevance; the erecinovel or canno	t be considered to	
"L" docume	ant which may throw doubte on priority claim(e) or to clied to establish the publication date of another ————————————————————————————————————		ive step when the do cular relevance; the	ocument is taken alona	
chatio	n or other upecial reason (as specifical)	cannot be consid	ered to involve an ir	ivantive step when the ore other auch doou-	
	ent referring to an oral disclosure, use, exhibition or means	ments, such con	plination paled opay	cues to a person skilled	
"P" docum	ent published prior to the international filling date bull han the priority date claimed "&"	in the art. document member	r of the same paters	lamly	
	actual completion of the international search	Date of meding o	f the international of	arch report	
ļ					
2	9 April 1999	10/05/	1999		
Name and	mailing address of the ISA	Authorized office			
	European Palent Office, P.B. 5818 Patentiaan 2 NL - 2250 HV Riswijk				
l	Tel. (+31-70) 340-2040, Tx. 31 651 epo nl,	D'sylv	a, C		
	Fex: (+31-70) 340-3016				

Form PCT/IBA/219 (second sheet) (July 1992)

# INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

Int Vonal Application No PCT/US 99/00508

Patent document cited in search repor	t .	Publication date		Patent family member(a)	Publication date
GB 2314300	Α	24-12-1997	NONE		
EP 0814001	Α	29-12-1997	DE DE	29610920 U 29613781 U	29-08-1996 26-09-1996
GB 2326385	Α	23-12-1998	GB	2297950 A	21-08-1996
db Encodes	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	20 02 0000	ĀŪ	689706 B	02-04-1998
			AU	4852996 A	11-09-1996
		•	CN	1181040 A	06-05-1998
			EP	0808257 A	26-11-1997
		•	GB	2326384 A	23-12-1998
			WO	9626087 A	29-08-1996
			ÜŞ	5788270 A	04-08-1998
			ZA	9601335 A	12-09-1996
GB 2319751	Α	03-06-1998	WO	9822313 A	28-05-1998

Form PCT7/SA/210 (peters fermly annex) (July 1992)

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成18年3月2日(2006.3.2)

【公表番号】特表2002-503581(P2002-503581A)

【公表日】平成14年2月5日(2002.2.5)

【出願番号】特願2000-532307(P2000-532307)

【国際特許分類】

B 6 0 R 21/20 (2006.01)

[FI]

B 6 0 R 21/22

【誤訳訂正書】

【提出日】平成18年1月10日(2006.1.10)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】特許請求の範囲

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 繋げられた複数のパネル(24a、24b)を含み、乗物のAピラー(30)から延びてCピラー(34)に固定されるのに十分な長さであり、膨張時に前記乗物のルーフレールの近傍から少なくとも前記乗物のサイドウインドウの下縁まで延びるのに十分な高さのエアバッグ(22)と、

前記エアバッグ内に配置され、前記エアバッグに膨張ガスを分配する複数の開口(72)が長手方向に沿って設けられた、可撓性のあるチューブ(70)と、

<u>前</u>記可撓<u>性のある</u>チューブに連通<u>してい</u>る<u>、前記エアバッグを膨張させる</u>膨張ガス源(60)とを有するサイドカーテンエアバッグシステム(20)。

【請求項2】 前記可撓性のあるチューブ(70)の前記開口(72)は、前記エアバッグの全体の容積が実質的に同時に膨張させられるように前記チューブの長手方向に不均一に分布している、請求項1に記載のサイドカーテンエアバッグシステム(20)。

【請求項3】 前記エアバッグ(22)の下方後部領域(22b)は、膨張しないように互いに接合または縫合されている、請求項1または2に記載のサイドカーテンエアバッグシステム(20)。

【請求項4】 前記エアバッグ(22)の下方前部領域(22b)は、膨張しないように接合または縫合されている、請求項1<u>から</u>3のいずれかに記載のサイドカーテンエアバッグシステム(20)。

【請求項 5 】 前記エアバッグの幾つかの領域(22 d および22 e )は、それらが 膨張せず、そ<u>れによって</u>前記膨張ガスを前記エアバッグの特定の膨張領域へ流すように縫 合または接合されている、請求項 1 <u>から</u> 4 のいずれかに記載のサイドカーテンエアバッグ システム(20)。

【請求項 6 】 前記エアバッグは、前記エアバッグの下縁(22 f)か<u>らア</u>コーディオンプリー<u>ツ形</u>状(90)に折り畳まれて実質的に長い管状の形状に形成されており、かつ、壊れ易いまたは裂け易い材料に包まれている、請求項 1 <u>から</u> 5 のいずれかに記載のサイドカーテンエアバッグシステム(20)。

【請求項 7 】 前記折り畳まれ<u>て</u>包まれたエアバッグ(22)は、前記ルーフレール (38)に固定されている、請求項 6 に記載のサイドカーテンエアバッグシステム(20

【請求項8】 前記チューブ(70)は、編まれまたは織られた生地で作られた補強 外数を備ったてラストマー内管を有する : 請求項1から7のいずれかに記載のサイドカー 70を通って進む。チューブ 70 <u>が長い</u>ため、膨張ガスの圧力分布は、膨張器 60 からの距離に関連して減少する。従って、チューブ 70の開口 72 は、エアバッグ 22 の全体の容積が実質的に同時に膨張するように、チューブの長手方向に沿って不均一に<u>分布してい</u>てもよい。図 1 a からわかるように、チューブにおける開口 72 の分布は、チューブ 70 の閉じた端 74 b、つまり膨張器 60 から最も遠いエアバッグ 22 の側に向かって偏っている。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

[0007]

上述したように、エアバッグ22は、つながった複数のパネル 24a、24bを有する。エアバッグの中央22aは、乗物のフロントシートの背もたれ300の近傍あるい合まとは発合は図6に23aとして示される。理解し得るように、もしエアバッグ22がこの中央22aで膨張したならば、搭乗者を適切に保護することにならないであろう。同に、エアバッグ22の下方後部領域22bも接合または縫合されているので膨張し一端82は、アバッグの下方後部領域22bも接合または縫合されている。繋ぎ帯80の他端84は、エアバッグの下方後部領域22bに接合または縫合されている。繋ぎ帯80の他端84は、繋ぎ帯の開口85を通る留め具によって、乗物の構造部に緩くまたは揺動可能には、繋ぎ帯80aが固定されている。同じく、繋ぎ帯80aの端84aは、Aピラー30のに28はおよび22eで示されている。同じく、繋ぎ帯80aの端84aは、Aピラー30に22dおよび22eで示されているような、エアバッグの他の幾つかの領域が、膨張せように、縫合または接合されている。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】 0 0 0 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

[0008]

エアバッグは、下縁22fか<u>らア</u>コーディオンプリーツの形状90に折り畳まれ、概ね図3に示される形状とされている。この折り畳まれた形状では、エアバッグ22は、基本的には長い管のような形状になる。エアバッグをこの折り畳まれた形状に保つため、エアバッグは、公知の収縮包装材(セロハン)92のような、壊れ易いまたは裂け易い材料に包まれている。折り畳まれ、包まれたエアバッグ22は、その後、保持クリップ100a、100bのような複数の留め具を使って、ルーフレール38に取り付けられる。図3に図示されているように、一方の保持クリップ100bは、各クリップがエアバッグの膨張時に(図6に図示されているように)裂け開くことを可能とするように、予め応力を加えられた裂け目領域102を含む。保持クリップ100aおよび100bは、図3に図示されているように、留め具110によってルーフレールに固定できる。